

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年7月17日

【2018年7月7日～2018年7月13日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。米国と中国の間での貿易摩擦の緩和が期待されたことなどが、ブラジル・レアルをはじめ新興国通貨が堅調に推移した背景となりました。

経済指標では、5月の小売売上高の発表がありました。ストライキの影響もあり前月比マイナスとなったものの、市場予想より良好な結果となりました。

8日（現地）、収監中のルラ元大統領の釈放を控訴裁判所の判事が命じたものの、別の判事がこの命令を阻止し、ルラ氏の収監が継続することが決まりました。市場ではルラ氏が10月の大統領選挙に出馬する可能性は低いとみえています。一方で本人は出馬する意向を崩しておらず、また同氏は国民からの支持も厚いため、ルラ氏をめぐる動向には注意が必要です。

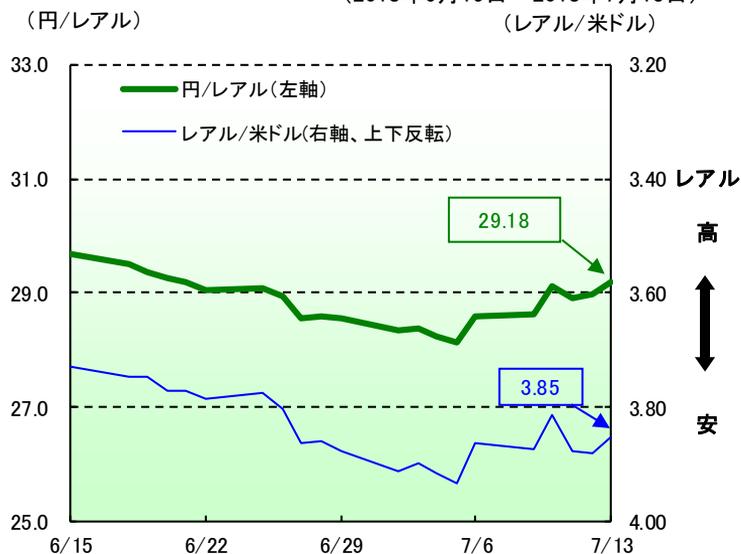
### 【2】今週の見通し

今週は、各種インフレ率のほか、経済活動指数などが発表されます。インフレ率は短期的にはストライキによる影響で上振れることが予想されているものの、市場予想よりも小幅な物価上昇にとどまればブラジル金利の低下が期待されます。

大統領選挙に関しては、サンパウロ市内での世論調査が1件公表される見通しです。8月の選挙キャンペーン開始が近づくにつれて、市場でも大統領選挙への注目度が一段と高まるとみられます。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

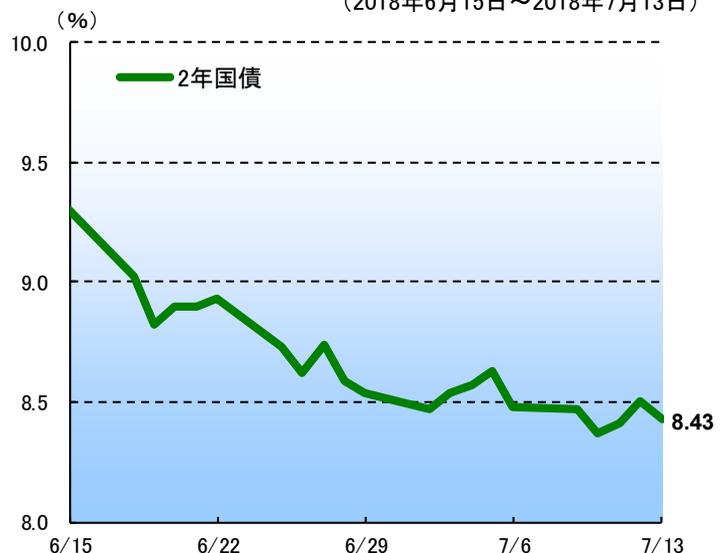
(2018年6月15日～2018年7月13日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2018年6月15日～2018年7月13日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>